

アルインコ株式会社
2026年3月期第2四半期
決算補足説明資料

2025年 10月 20日

証券コード：5933

<https://www.alinco.co.jp/>



2026年3月期第2四半期 連結業績

- ✓売上高は、前年同期比3.0%増と堅調に推移した。
- ✓営業利益は、人件費等の増加から販売費及び一般管理費が増加したため、前年同期比4.4%減。経常利益は、同3.6%減となった。
- ✓また、親会社株主に帰属する中間純利益においても、特別利益が前年同期比1.7億円減少したことなどにより、同10.8%減となった。
- ✓通期業績予想に対する進捗は、売上高は50.0%と順調であるが、利益項目はやや遅れが生じており、今後積み上げを図っていく。

(単位：百万円)

	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q		2026年3月期 通期	
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	実績 (売上比)	前年同期比 増減額 (増減率)	予想 (売上比)	2Q進捗率
売上高	29,230 (100.0%)	30,822 (100.0%)	31,748 (100.0%)	+926 (+3.0%)	63,500 (100.0%)	50.0%
営業利益	1,367 (4.7%)	1,313 (4.3%)	1,256 (4.0%)	△57 (△4.4%)	3,100 (4.9%)	40.5%
経常利益	2,103 (7.2%)	1,474 (4.8%)	1,421 (4.5%)	△52 (△3.6%)	3,300 (5.2%)	43.1%
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,468 (5.0%)	1,029 (3.3%)	918 (2.9%)	△110 (△10.8%)	2,180 (3.4%)	42.1%

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

2026年3月期第2四半期 セグメント情報

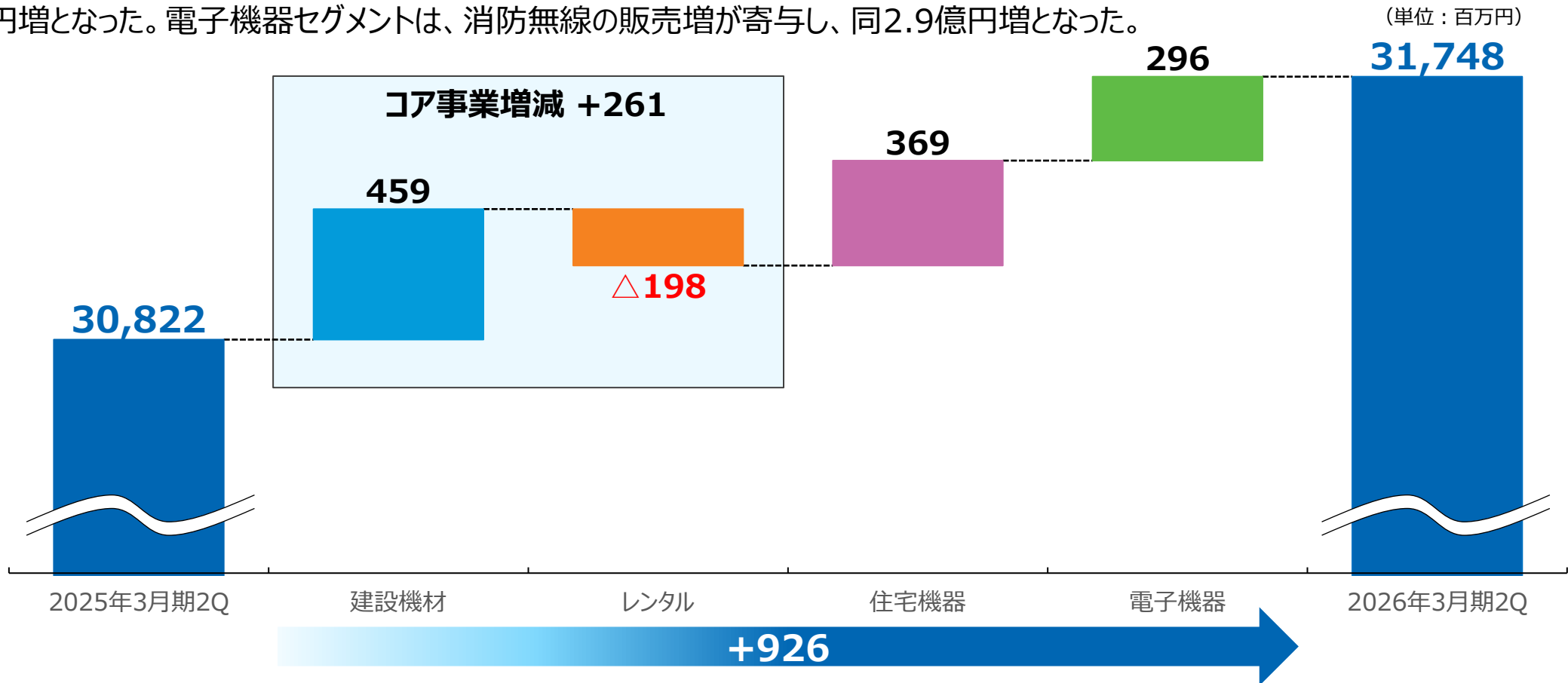
- ✓ 建設機材セグメントでは、売上高は増加したものの、利益率の低い製品の販売が多くを占めたことから、セグメント利益は減少した。
- ✓ レンタルセグメントでは、首都圏を中心に「アルバトロス」をはじめとした主要な製品群の稼働率が堅調に推移したものの、関西圏で工事の着工や進行調整による足踏み感が生じたことから、売上高はやや減少。損益面では、仮設機材レンタル会社の”購買からレンタルへ”の動向に対応すべく積極的なレンタル資産への投資を継続していることから減価償却費が増加し、セグメント利益は減少した。
- ✓ 住宅機器セグメントでは、米不足による自家用米備蓄ニーズから玄米保冷庫の販売や、子会社(株)シップの高所作業台の販売が堅調に推移。また、フィットネス関連製品も比較的高額品に販売回復の傾向が生じ、新製品をタイムリーに発売した結果、売上高が増加した。
- ✓ 電子機器セグメントでは、消防無線の更新需要が本格化し無線機が前年同期比205.5%増となり、売上高を牽引した。

(単位：百万円)

上段：売上高 下段：セグメント利益	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q		2026年3月期 通期	
	実績	実績	実績	前年同期比 増減率	予想	2Q進捗率
建設機材関連	10,853 1,323	12,495 1,328	12,955 1,009	+3.7% △24.0%	23,800 2,053	54.4% 49.1%
レンタル関連	8,766 449	9,025 759	8,827 577	△2.2% △24.0%	18,750 1,454	47.1% 39.7%
住宅機器関連	6,939 △196	6,896 △256	7,265 △79	+5.4% －	15,100 △310	48.1% －
電子機器関連	2,670 0	2,404 △325	2,700 △239	+12.3% －	5,850 △97	46.2% －
調整	－ 525	－ △31	－ 153	－ －	－ 200	－ －
全社合計	29,230 2,103	30,822 1,474	31,748 1,421	+3.0% △3.6%	63,500 3,300	50.0% 43.1%

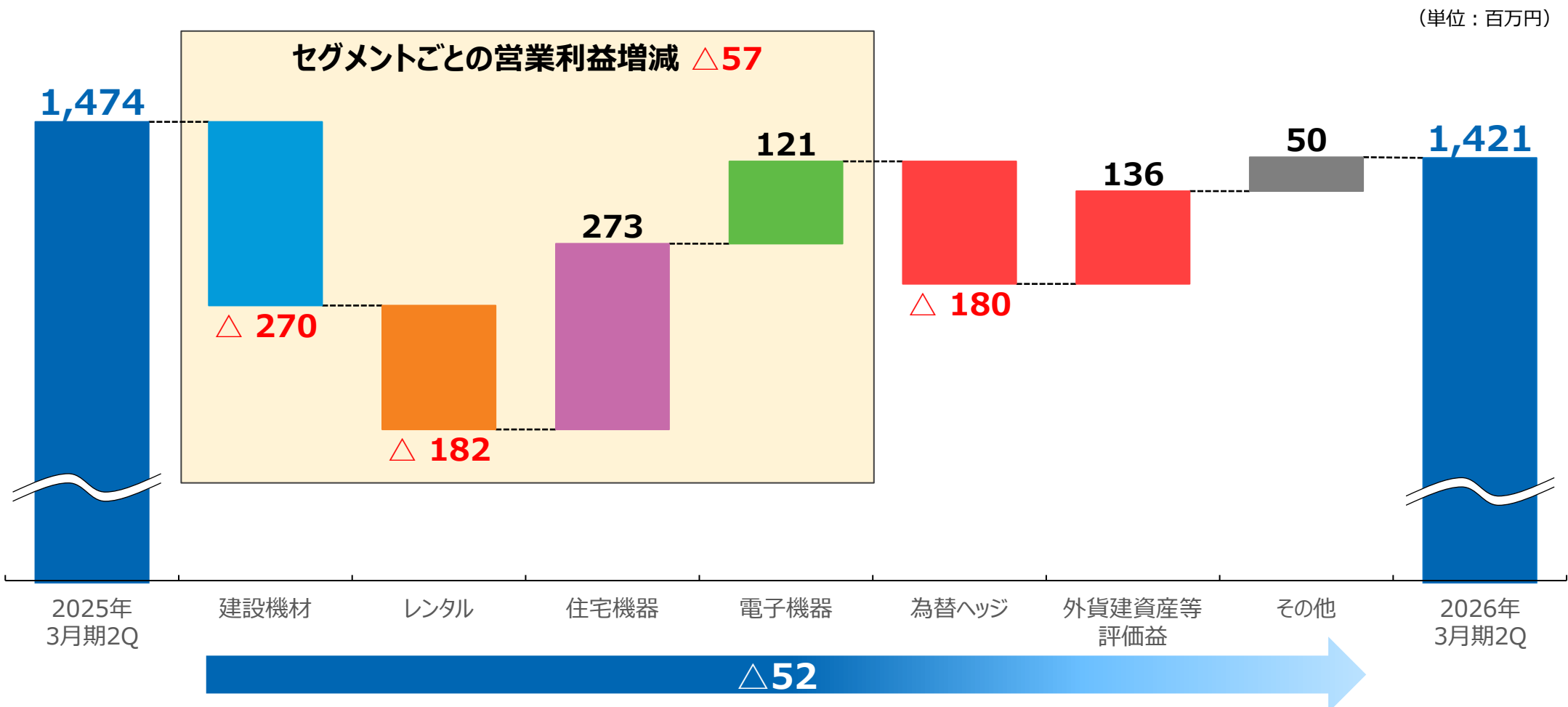
2026年3月期第2四半期 セグメント別売上高増減

- ✓コア事業は、仮設機材レンタル会社による“購買からレンタルへ”の動きが継続しているものの、一部では将来の建設計画を見据えて計画的に購買を検討する兆しも見え始め、主力製品の「アルバトロス」が売上高増加を牽引し、前年同期比5.4億円増となった。また、物流関連製品の販売が同0.8億円減となり、建設機材セグメントとしては同4.5億円増となった。一方、レンタルは関西圏で工事の着工や進行調整による足踏み感が生じたことから同1.9億円減となった。
- ✓住宅機器関連製品は前年同期比0.6億円増、フィットネス関連製品は同3億円増となった。これにより、住宅機器セグメント全体では同3.6億円増となった。電子機器セグメントは、消防無線の販売増が寄与し、同2.9億円増となった。



2026年3月期第2四半期 経常利益増減

- ✓営業利益は、住宅機器や電子機器セグメントの利益増加が建設機材やレンタルセグメントの利益減少を補い、前年同期比0.5億円減と小幅にとどまった。
- ✓経常利益は、為替相場がボックス圏で推移したことから、為替差損益の影響が縮小し、営業利益の減少幅と同様に前年同期比0.5億円減少した。



(単位：百万円)

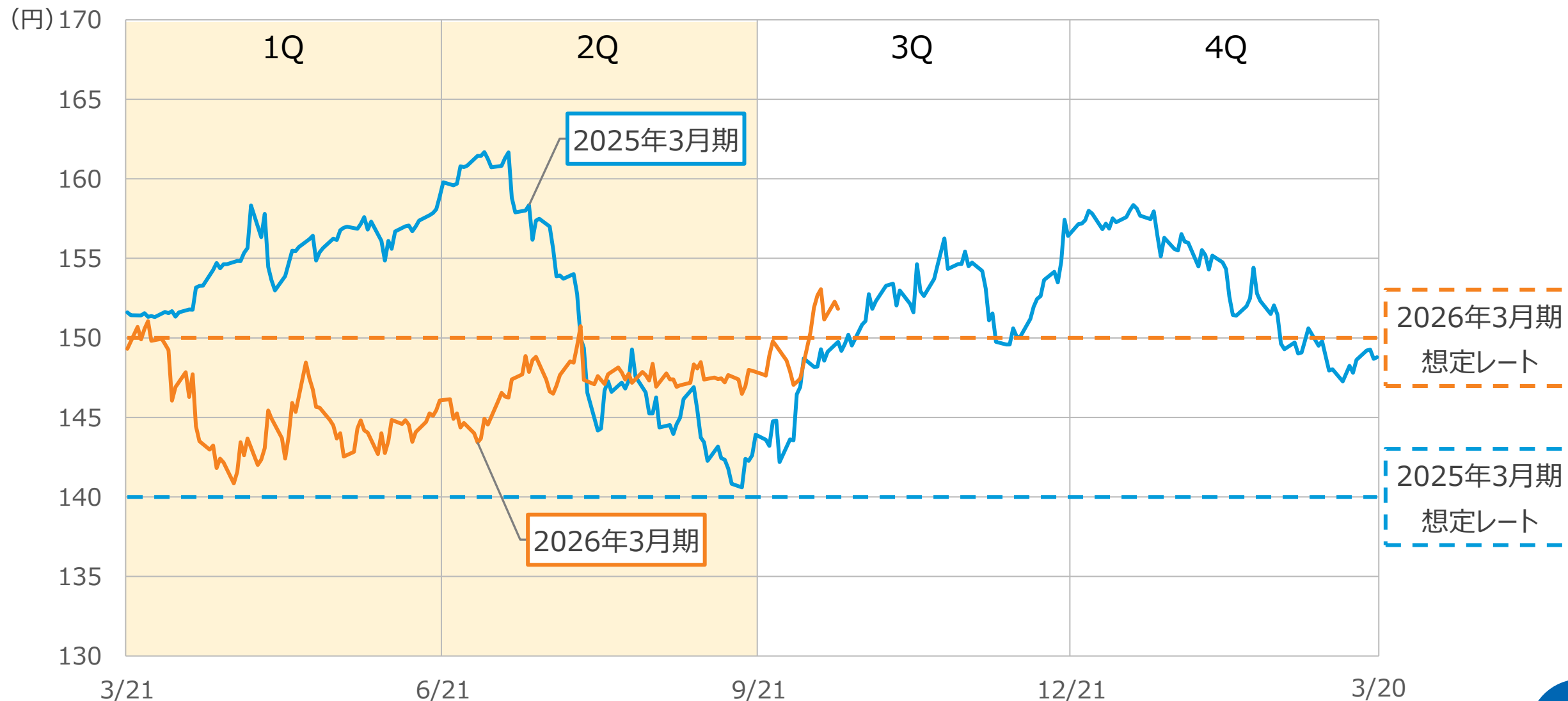
	2025年3月期	2026年3月期 2Q	
	実績 (構成比)	実績 (構成比)	前期比 増減額 (増減率)
流動資産	43,194 (60.9%)	43,787 (60.9%)	+592 (+1.4%)
固定資産	27,689 (39.1%)	28,097 (39.1%)	+408 (+1.5%)
資産合計	70,883 (100.0%)	71,884 (100.0%)	+1,001 (+1.4%)
流動負債	21,739 (30.7%)	20,961 (29.2%)	△778 (△3.6%)
固定負債	17,149 (24.2%)	18,706 (26.0%)	+1,556 (+9.1%)
負債合計	38,888 (54.9%)	39,667 (55.2%)	+778 (+2.0%)
純資産	31,994 (45.1%)	32,217 (44.8%)	+222 (+0.7%)
負債・純資産合計	70,883 (100.0%)	71,884 (100.0%)	+1,001 (+1.4%)
自己資本比率	45.1%	44.8%	△0.3ポイント
D/Eレシオ	0.81倍	0.83倍	—

主な増減要因(百万円)	
流動資産	
受取手形・売掛金	+1,210
たな卸資産	△731
固定資産	
レンタル資産投入	+718
レンタル資産減価償却費	△480
純資産	
親会社株主に帰属する 中間純利益	+918
配当金の支払	△438

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

【ご参考】ドル／円相場の推移

✓ドル円相場は前年同期に比べ円高で推移している。



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競業状況等、多くの不確実な要因による影響を受けます。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。

本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

【お問い合わせ先】

アルインコ株式会社 経理本部 IR室

大阪府中央区高麗橋4-4-9 淀屋橋ダイビル

E-mail : alinco-ir@alinco.co.jp